

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン掲載))

【第22回】

「上庄放課後子ども教室」の取り組み

福井県大野市上庄小学校長 川 端 寛 治

「上庄放課後子ども教室」は本校の空き教室を拠点として、大野市B&G海洋センター※や公民館でも様々な活動を行っています。地域ボランティア10名(男3名、女7名)が毎日3~4名ずつ交代で1年生から6年生までのすべての子どもたち(定員30名)の指導等に当たっています。平成19年5月1日開設以来、様々な課題をクリアし、少しずつ改善を図りながら今年で3年目を迎えます。

実行委員会(学校・PTA・地域・児童福祉関係等の代表者で組織、学期に1回開催)と安全管理委員会(地域ボランティア指導者で組織、月1回、第3木曜日開催)で企画・運営し、より良い方向を模索しています。

また、選考委員会(必要としている子の選考)や「安全管理マニュアル」(管理・運営の方法・留意点の確認)、日報(活動・様子などの記入)等で、運営上の共通理解を図ったり、連絡・調整したりしています。

上庄地区は幼・保・小・中が各1校(園)で、小学校入学から中学校卒業までほぼ同じメンバーで過ごします。また、昔から学校と地域の結びつきが強いこともあって、「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」を一体的に行う事への理解・協力体制は極めて良好です。

子どもたちは、曜日ごとの計画表に基づき、読書・宿題・軽スポーツ・太鼓・遊び等、バラエティーに富んだ活動を楽しんでいます。

その中で、大きい子が小さい子の面倒を見たり勉強や遊びを教えたりする、ほほえましい光景も見られます。また、遊び一つにも自分たちなりのルールを作ったり、仲間から啓発されてできなかったことに挑戦したりもしています。

そんな姿・様子に接するたびに、開設までの紆余曲折を忘れ、ああ、「上庄放課後子ども教室」ができて良かったなあとしみじみ思います。

※ 大野市B&G海洋センター…上庄地区にあり、体育館・プールの施設を持つ同センターは、次代を担う子どもたちのこころとからだの育成をはじめ、地域住民のみなさんの健康づくりのための様々な活動を実施しています。

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン) 第119号に掲載)